

第5回ボノロンの森環境活動に参加しました！

セブン銀行

2012/9/26

セブン&アイ HLDGS.

CSR アクション

セブン銀行では、自然を慈しむ心の醸成を目的に、2008年から毎年、富士山の麓の森で「自然体験プログラム」と「清掃活動」を、従業員とその家族で行っています。今年は9月8日（土）に山梨県で「富士風穴森林ウォーク&洞窟探検」と「枯れ沢の清掃活動」を行いました。

個人ではなかなか行く機会のない洞窟ではとても神秘的な体験をしました。また、清掃活動前のレクチャーでは、富士山で降った雨が最終的には相模湾に流れつくことを教えてもらい、清掃活動をして富士山の環境を守ることは、私たちの安全な生活にもつながるのだと知りました。

大自然に癒されるとともに、普段の業務では接点のない人とも交流ができ、とても有意義な時間を過ごすことができました。

今後も周囲の人を誘って、積極的にこのような活動に参加したいです。



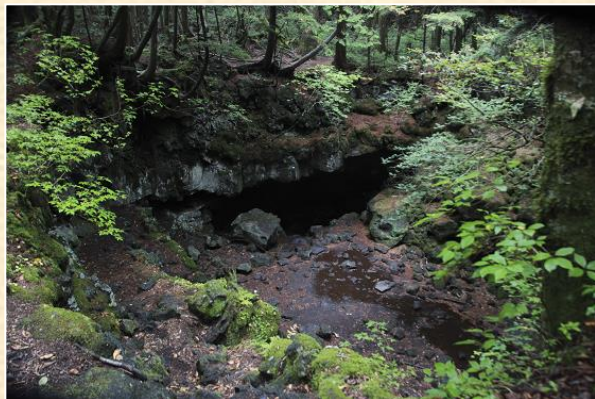
セブン銀行
業務推進部
田村 優実

富士風穴森林ウォーク&洞窟探検 byホールアース自然学校

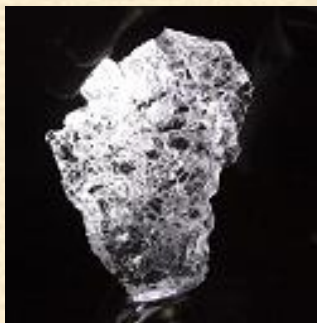
1150年前の富士山噴火によりできた青木ヶ原樹海とその地下に広がる富士風穴を、ホールアース自然学校（NP0法人ホールアース研究所）のスタッフのガイドのもと探検しました。



森を歩きながら、随所でスタッフの方が説明をしてくれました。皮を鹿に食べられてしまった木や、リスの食べ残したエビフライ状の木の実などを見て、あちらこちらで青木ヶ原樹海に生息する動物達の息吹を感じることができました。



富士山には噴火によりできた溶岩洞窟が多数存在します。
今回入ったのは、この富士風穴。
入り口はこんな感じです。



中に入り、岩場を降りていくと、蒸し暑かった森の空気が一変。
まるで冷蔵庫、いや冷凍庫のようにひんやりしていました。
さらに降りていくと、ぽっかりとした空間が。
前日に森に降った雨が溶岩に染み込んで、洞窟の中にポタポタ滴が垂れてきます。

足元には夏でも溶けない氷が広がっていました。
ライトで照らしてみると、何一つ不純物の混じっていない氷に光がキラキラと美しく反射します。

みんなで一斉にライトを消してみました、するとそこは“真の暗闇”の世界。目の前にあるはずの自分の手さえも見えません。大きな声で叫んでも、気泡でいっぱいの溶岩石に音が吸収されてしまい、全く響きません。完全に外の世界と遮断されてしまいました。

富士山のおなかの中は、まさに神秘的な世界でした。





もりの学校でのレクチャーと枯れ沢の清掃 by富士山クラブ

NPO法人富士山クラブの「もりの学校」では、富士山で降った雨が湖や川をめぐって最終的には相模湾に流れ出ることを教えてもらいました。



いよいよ清掃開始。今回の場所は、森の脇にある枯れた沢。多種多様なゴミが捨てられています。普段から水があるわけではないのですが、大雨が降ったりすると川になります。そのため、広いエリアにゴミが散らばっていました。



土に埋まっているブルーシートを発見。
1時間みっちりかけて、
やっとここまで掘り起こしました。

午前中に見た美しい森の姿を思い浮かべると、清掃活動にも自然に力が入ります。見れば見るほどゴミが出てきて、富士山のゴミ問題の深刻さを感じました。



回収したゴミの量

可燃ごみ 15袋
ビン・缶 6袋
タイヤ、ホットカーペット等

合計 約170kg

「環境NPO団体応援クリック募金」贈呈式のご報告

6月の環境月間に行った「環境NPO団体応援クリック募金」の寄付金312,734円を、それぞれ156,367円ずつ、NPO法人ホールアース研究所およびNPO法人富士山クラブに贈呈しました。
ボノロンの森環境活動の各プログラムの中で贈呈式を行い、セブン銀行副会長兼CSR・環境委員長の若杉正敏よりそれぞれの代表者へ目録が手渡されました。



関連情報

「環境NPO団体応援クリック募金」贈呈式の詳細は以下をご覧ください。

→http://www.sevenbank.co.jp/corp/csr/kankyo_npo_click.html